

## 2014年11月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：2014年11月26日（水） 16:00～18:00

場所：日本建築学会東北支部会議室+Skype

出席者：源栄，後藤，小地沢，有川，手島，許，川村，笹渕，伊藤（事務局），瀧（事務局）

Skypeによる出席者：日比野，苅谷，宮腰

欠席：パリーク，佐藤慎也，小林，佐藤大作

### 1. 前回議事録の確認

- ・小地沢常議員が【資料1】を読み上げ、内容の確認を行い、内容が了承された。

### 2. 報告事項

#### 1) 理事会報告

- ・源栄支部長が【資料2】に基づいて、後藤常議員が代理出席した11月理事会および支部長会議の議事の要点の報告を行った。
- ・次回（2016年）のアジア建築交流国際シンポジウム（ISAIA）を仙台で開催する予定となり、東北大学萩ホールを中心に会場を確保する方向で協議中であることが報告された。
- ・災害に強いまちづくりシンポジウムについて理事会で報告を行ったことが報告された。

#### 2) 8月・9月・10月会計報告

- ・笹渕常議員が【資料3】に基づいて、報告を行った。

#### 3) 代議員・支部役員候補者届出報告

- ・事務局が【資料4】に基づいて、報告を行った。本日時点で代議員に3名、常議員に5名の候補者の届出があり、支部で取りまとめた後、12月10日までに本部に届け出る予定であることが報告された。

#### 4) 第25回東北建築作品発表会の報告

- ・事務局が東北建築賞の1次審査を兼ねた東北建築作品発表会が行われたことについて報告を行った。

#### 5) 2014年度日本建築学会設計競技全国審査会の結果報告

- ・事務局が【資料5】に基づいて、報告を行った。東北支部から5作品を推薦していたが、9月12日の第2次審査を経て、佳作に1作品、タジマ奨励賞に2作品が入選し、残る2作品は支部入選となることについて説明があった。なお、支部入選については来年度の総会で表彰を行う予定である。

#### 6) 「作品選集2015」全国審査の結果報告

- ・事務局が【資料6】に基づいて、報告を行った。東北支部から8作品を推薦していたが、うち4作品が作品選集に掲載されることになったことについて説明があった。

#### 7) 国連防災世界会議の進捗状況について

- ・笹渕常議員が【資料7】に基づいて、報告を行った。パブリック・フォーラム「いのちを守るまちづくり／家づくり」が原案通り採用され、3月14日に仙台市民会館小ホールで実施することになったことについて説明があった。また、模型復元プロジェクトについては、仙台市民会館で開催できるよう調整が進められていることが説明された。
- ・期間中の来場者が分散することが予想されており、積極的な広報が必要であることについて説明があった。また、ロゴマークの使用には事前の申請が必要であることが確認された。なお、プログラムの確定は1月を予定しており、宿泊予約のホームページはまだ開かれていないことが確認された。
- ・同会議のホームページの「防災復興レポート」内に、「災害に強いまちづくりシンポジウム」の開催の概要についてレポートされていることが報告された。
- ・源栄支部長が当日配布資料に基づき、セッションの内容案について説明した。
- ・パブリック・フォーラムで配布する資料集について小野田泰明先生を中心とした編集委員会を立ち上げることとなり、構造系から木村構造部会長ともう1名、計画系から手島常議員と坂口建築計画部会長を委員に充てる方針を確認した。

#### 8) 協賛依頼承諾の報告

- ・事務局が【資料 8】に基づいて協賛依頼について説明を行い、源栄支部長と総務担当常議員から事前に了承を得たため承諾したことについて報告を行った。
- 9) 災害に強いまちづくりシンポジウム開催報告
- ・源栄支部長が【資料 9】に基づいて、報告を行った。当日は他団体のイベントと重なるなどの事情もあったが、70名の参加があった。各発表内容は国連防災世界会議のセレクトドペーパーとして編集を進める方針について源栄支部長から発言があった。
- 10) 事務局の 2015 年度雇用契約の報告
- ・源栄支部長が【当日配布資料】に基づいて、事務局員 2名の雇用を継続することについて報告を行った。
- 11) その他
- ・その他の意見がなく、報告を終えた。

### 3. 審議事項

- 1) 2015 年度支部総会の日程・会場・担当者・付随行事について
- ・事務局が【資料 10】に基づいて、2015 年 5 月 23 日を開催候補日として支部総会を開催する予定であることについて説明を行った。
  - ・支部総会に先立って、新旧役員顔合わせを兼ねた支部役員会の開催を行うことについて確認した。
  - ・9 月役員会で承認された通り、支部総会では役員選挙細則の改正が必要であるため、議事に加えることについて確認した。
  - ・源栄支部長から総会への動員の工夫が必要であることについて指摘があり、1 月役員会までに提案を求めることについて確認した。
- 2) みちのくの風 2015 山形について
- ・小地沢常議員が【資料 11】に基づいて、開催計画について説明を行い、内容について了承された。
  - ・招待講演者の五十嵐先生のアテンドについては木村構造部会長にお願いする方針について確認した。
- 3) 2015 年度支部研究報告会論文募集スケジュールと募集要項について
- ・事務局が【資料 12】に基づいて、募集スケジュールと募集要項について説明を行い、内容について了承された。募集要項は建築雑誌 1 月号について掲載予定である。
  - ・論文掲載料については、消費税アップを反映せず据置きとしていることについて確認した。
- 4) 建築デザイン発表会の募集要項修正案について
- ・小地沢常議員が【資料 13】に基づいて説明を行い、発表会が支部主催行事であることやプログラム編成に建築デザイン教育部会から人員を派遣することについて確認した上で、建築デザイン発表賞の授与のあり方について審議した。
  - ・賞の授与については、発表会の収支の範囲で実施することが確認された。
  - ・懇親会の中で表彰式を行うことは受賞者への負担が大きいと意見があった。
  - ・小地沢常議員を中心に建築デザイン教育部会が運営案を作成し、1 月役員会に諮ることとした。
- 5) 2015 年度予算（案）について
- ・笹渕常議員が【資料 14】に基づいて、説明を行った。
  - ・経常収益については災害報告書完売のため研究集会事業の収入が減少し、委託調査が完了するため委託事業費の増加を見込んでおり、経常費用については功労者の増加に伴う支出が増え、みちのくの風の会場費が減少することなどを見込んでいることが説明された。また、経常外収入では支部費が増加となることが説明された。
  - ・笹渕常議員から災害調査研究基金について 50 万円積増しし、震災前の額に戻すことについて提案があり、満場異議なく了承された。
  - ・2017 年には東北支部創立 70 周年、2018 年には東北支部で大会の開催を予定しているため、将来的には積立てが必要になることについて意見があった。
- 6) 支部年報第 35 号の発刊について
- ・事務局が【資料 15】に基づいて、支部年報の内容案と執筆者案について説明し、宮腰常議員の取りまとめの下、作業を進めることについて満場異議なく了承された。

- 7) 2015 年度支部研究補助費の申請について
  - ・事務局が【資料 16】に基づいて、各部会持ち回りで研究補助費を使用していることについて説明し、来年度は地方計画部会の配分とすることについて満場異議なく了承された。
- 8) 2015 年度設計競技支部審査員の選出について
  - ・事務局が【資料 17】に基づいて、設計競技の課題案について説明し、支部審査員の選定依頼があることから選出を求めた。
  - ・「常議員もしくは支部役員会からの推薦者」として、手島常議員と福屋粧子先生（東北工業大学）を推挙する意見があり、満場異議なく了承された。
- 9) 本部の災害委員会への委員推薦について
  - ・事務局が【資料 18】に基づいて、災害委員会への委員推薦の依頼が本部からあることについて説明した。
  - ・災害時の体制づくりの見直しと併せた重要事項であるため、源栄支部長が選任することについて、満場異議なく了承された。
- 10) 2015 年度全国・大学高専卒業設計展示会の会場確認について
  - ・事務局が【資料 19】に基づいて説明し、東北工業大学での開催が 2 年続いたため、東北大学での開催をお願いしたい旨について説明した。
  - ・後藤常議員が窓口となり、学内調整を行うことについて、満場異議なく了承された。
- 11) その他
  - ・その他の意見がなく、審議を終えた。

#### 今後の予定

- |             |        |
|-------------|--------|
| ・ 12 月支部役員会 | 休会     |
| ・ 1 月支部役員会  | 後日日程調整 |

文責：小地沢